

### 担い手確保の好循環を

建設コン協九州が総会

建設コンサルタント協会（建コン協）九州支部（田中清支部長）は23日、2024年度定時総会をオリエンタルホテル福岡博多ステーションで開き、23年度事業報告案、役員改選案などを承認し、24年度の事業計画や予算を報告した。

開会あいさつで田中支部長は「技術者単価は12年連続で引き上げられた。このような中、最低でも3%、いや5%の賃上げを行い、担い手の確保・育成につなげるという好循環を保っていただきたい」と述べ、写



真、賃上げの原資となる事業量の確保や最低制限価格の引き上げを強く求めていく考えを示した。

事業計画によると24年度も発注機関との意見交換会や各種講習会、若手・女性技術者交流会などの活動を行う。夢アイデア交流会は12月7日に予定。ワーキンググループを設置し、多様な社会における若手技術者委員会、女性技術者委員会

の在り方を検討する。

役員改選では任期満了に伴い▽安井義博（長大）▽生島潤一（日本工営）▽川野哲郎（高崎総合コンサルタント）▽福岡仁（親和コンサルタント）▽吉野俊輔（精巧エンジニアリング）▽安永信一郎（国土技術コンサルタント）の6氏が理事に就任。高野道直氏（JR九州コンサルタント）と前田義孝氏（いであ）が監事に就いた。

愛敬圭三氏（中央コンサルタント）が監事から理事に変更。会社都合で副支部長が東野修幸氏（西日本技術開発）に交代した。